

平成 30 年度第 2 回プラネタリウム館運営協議会会議録（概要）

1. 開催日時 平成 30 年 2 月 27 日（水）午後 3 時 30 分から 4 時 45 分まで
2. 開催場所 文化センター2 階応接室
3. 出席者 委員 松上副会長、多賀委員、野崎委員、赤瀬委員
事務局 川上センター長、長谷川副主幹、岸下主査補
4. 欠席者 2 名 森会長 仲田委員
5. 議題 ①平成 30 年度事業実施状況について (公 開)
②平成 31 年度事業計 (公 開)
③ドーム時間貸し切り使用について (公 開)
④その他 委員の任期延長について (公 開)
6. 配布資料 資料① プラネタリウム来館者集計（平成 30 年度 1 月）
資料② 平成 31(2019)年度 事業計画（案）
資料③ ドーム時間貸し切り使用について
7. 会議での確認・承認事項
 - ①平成 30 年度事業実施状況について確認
 - ②平成 31 年度プラネタリウム事業内容についての承認
 - ③ドーム時間貸し切り使用（時間・料金等）について 承認
8. 議 事 以下のとおり

事務局	<p>森会長より会議へ遅刻するとの連絡があったため、松上副会長が議長となり会議を進める。</p> <p>センター長挨拶の後、事務局より、平成 30 年度事業計画（H29 年度第 2 回会議配布資料②）に沿って、平成 30 年度投映事業実施状況の報告を行う</p> <p>事業計画に沿って、滞りなく事業を進めている。</p> <p>クラウドファンディングでは多くの方のご支援をいただき、新しい望遠鏡を購入することができた。2/23 には、支援者を対象とした望遠鏡のお披露目観望会を行った。素晴らしいシステムで、今後の活用が期待される。</p> <p>今年度は火星大接近があり、「赤い星・青い星・白い星」をテーマに事業を進めてきた。1 月までの歳入は、前年度と比べ若干上がっている。これは料金改定による値上げが理由と考えられる。</p> <p>来館者数は、ほぼ前年度と同じである。子どもの人数の減少により、幼児・小学校団体投映の人数が減少しているが（前年度比-281 人）一般投映来館者数が多かった（前年度比+267 人）ためである。火星大接近による観望会の来館者も多かった。</p>
●●委員	<p>今回購入した望遠鏡の星の見え具合はどうか。</p>

事務局	白井では肉眼で見えるのは、3等星から4等星ぐらいだが、新しい望遠鏡では、暗い星雲星団も観望できた。M1 やエスキモー星雲などの撮影もできた。
●●委員	お披露目観望会へは何名来たのか。ボランティアは手伝ったのか。
事務局	41名である。天文同好会には、写真に詳しい1名に手伝いをお願いした。他はクラウド支援者として参加していただいた。しかし、望遠鏡の片づけは皆さん手伝ってくれた。
●●委員	1月までの来館者累計を見ると、一般投映も星を見る会も3分の2は市外からの来館者である。単に白井だけのプラネタリウムではなく、近郊のプラネタリウムとして根付いているのが見える。
事務局	その通りである。
●●委員	来館する学校の団体数はわかるか。
事務局	まだ集計していない。5月頃までに30年度集計が終わるので待つてほしい。ざっとみたところでは、来館学校数は、ほぼ例年通りと思われる。
●●委員	幼稚園の園児数は、毎年少しずつ減少しているが、保育園は新しくできている。そのような保育園へも案内等の送付は行っているのか。
事務局	白井と印西に新しくできた保育園には、案内を送付している。何件か新しい保育園が来館してくれたが、保育園はバスの手配が難しいように感じる。
●●委員	平成30年度事業について他に質問はないか。では、31年度事業の説明をお願いします。
	事務局より。配布資料②平成31(2019)年度事業計画(案)にそって平成31年度事業について説明を行う
事務局	31年度は、人類月着陸50周年目にあたり、「月」をテーマに事業計画をたてた。また、来年度は白井のプラネタリウム開館25周年にもあたる。 市の「使用料の減免基準の見直し」により、身体障がい者手帳、療育手帳、精神障がい者福祉手帳の提示により、手帳保有者本人及びその介護付添人1人の一般投映料金が無料となる。無料になるのは主に土曜・日曜に行っている予約なしで観覧できる一般投映である。予約をして入る投映は料金をいた

	<p>だくことになるので、問題が起きないように丁寧に案内をしていきたい。</p> <p>消費税率が上がった場合、市内大人団体、市内子ども、市外大人、市外子ども団体の料金が10円ずつ値上げとなる。</p> <p>職員1名が再任用で週4日勤務になるので、臨時職員含め、仕事の割り振り等、引継ぎを行う。それに伴い事業内容、回数、時間等を見直した。出張観望会は強く要請されないかぎり行わないこととした。</p>
●●委員	障がい者が団体予約をして投映を見た場合は、料金が発生するのか。
事務局	発生する。団体でも、一般投映に入った場合は無料となるが、一般と一緒に入るのが難しく、別に投映を設けた場合は料金が発生する。
●●委員	東大和では、一般であろうが別枠であろうが、障がい者団体は無料になる。白井では、無料になる場合と、そうでない場合があり、更に様々なケースが予想される。
事務局	<p>トラブルが生じないように、気を付ける。</p> <p>→協議会后、行革担当者と話し合いを持つ。結果、身体障がい者手帳等を持つ団体の投映は予約投映も無料。</p>
●●委員	来年度、常勤が1人退職となり、事業を少し減らして対処するが、やはり根本的に、再任用も期間が限られているし、人員配置については考えていかなければならないと思う。ここで決められることではないが、検討して欲しい。もう一件、料金設定の高いライブコンサートは、少ない人数で、高い収益を上げることができる。回数を増やしても良いのではないか。
事務局	ライブコンサートは、少ない謝礼で出演してくださる演奏者をお願いして開催している。限られた年度予算の中では、開催できる回数も限られ、現状がぎりぎり可能な回数である。
●●委員	31年度の5月の10連休はどうなるのか。
事務局	日程表を参照。文化センター全体で協議し、月、火、水の3連休とした。あとは、開館する。長い閉館は、図書館、文化会館等へ支障が出、全て開館した場合は、職員の休みの振り替えができなくなるため、このようになった。東大和はどうしているのか。

●●委員	東大和は、正規職員 4 人に、再雇用 1 人、臨時職員 3 人と嘱託 2 人の全 10 人がいて、嘱託以外の 8 人がオート番組を投映する。休みは割り振ってとる。この期間はイベントを入れると、人が回らなくなるので入れないことにしている。投映は、通常番組を 1 日 3 回行う。
事務局	白井では連休後半の子どもの日にイベント投映を行う。連休の最後は家の近くで楽しもうという人が多くなり、プラネタリウムでは、連休後半の方が来館者が多くなる傾向がある。
●●委員	同じである。連休後半や、雨の日に来館者が増える。今回連休の最終日が月曜日なのは、もったいない。10 月の休みはどうなるのか。
事務局	同じ時期の土・日に、ふるさと祭りがあり、この時は、すごい人出で駐車場が一杯になるのでセンター全体で休館とし、天皇即位の祝日(火曜日)は開館する。
●●委員	投映外事業について。望遠鏡がクラウドファンディングにより 1 台増えるが、観望会時の手は足りるか。
事務局	天文同好会のメンバーが増えているので、大丈夫である。常時 7～8 人メンバーが参加している。
●●委員	個人的なことだが、歌を歌うメンバーが、「あなただけのプラネタリウム」でドームを借りて歌いたいと言っている。しかし 30 分だと短い。2 人で続けて 30 分ずつ、続けて 1 時間借りることは可能か。
事務局	可能である。
●●委員	仕組みを知る講座に客はくるのか。
事務局	1 組 4 人までで、4 組募集を行うが、毎回これくらいの申し込みがある。こうやって、少しずつ来館人数と歳入を増やしている。
●●委員	平成 31 年度事業について他に意見・質問はないか。では、次の議題ドーム時間貸し切り使用についての説明をお願いします。
事務局	プラネタリウムに時折、ドームで撮影ができるかという問い合わせがくる。結局日程が合わずお断りしているが、日程が合えば、貸してもいいと考える。

	その場合の貸出料金等、教育委員会会議にかけ、決定したい。検討内容は、資料③「ドーム時間貸切り使用について」参照。
●●委員	市内市外料金を設定してはどうか。
●●委員	料金を分けると、申込者だけが市内の人で、他は市外の人という場合もある。一律料金の方が良い。 東大和でも、ドラマの撮影等問い合わせがあるが、時間は絶対に1時間では終わらない。17時までに終わらせるのも難しい。どこまで受けるのか。
事務局	職員の人数も限られており、時間外貸し出しにすると、職員の時間外も発生する。設定した時間で可能なものだけ受けたい。ドームの時間貸し切りについては、こんな事もやっている、というのを見せるだけでも良い。
●●委員	やるのであれば、東京ロケーションボックスという情報を載せる場所があり、業者もそこを見て連絡を入れてくる。料金を決めるだけでなく、登録もしっかりしておいたほうが良い。
事務局	情報を載せるのに、登録料はかかるのか。
●●委員	かからない。東大和は登録しているので、業者からの問い合わせは結構来るが、場所や時間があわないとあって、実際の撮影はあまり行われていない。
事務局	東大和の料金設定はどうなっているのか。
●●委員	無料である。撮影依頼があると、上に伺いを立てる。そこで撮影が可能かどうか判断される。内容が不適切な場合は、お断りする。 今回白井で設定した、時間や料金は適切であると思う。更に、館のポリシーにより、撮影を断る場合があることを明記した貸し出し仕様を作ると良い。何でも受けるというのは危険。
●●委員	撮影申し込み時に、とりあえず企画書をだしてもらおうと良い。そこで、撮影可能かどうか判断をする。片づけ等の時間も考慮すれば、16時30分までとした方が良い。
事務局	参考にする。今後、ドームを使用してのライブ等の申し込みがあるかもしれない。あなただけのプラネタリウム等の兼ね合い等も考慮し、対応していきたい。

●●委員	単なる貸し出しでは、公共施設でもっと安くある。プラネタリウムという独自の空間だからこそ借りたいという人はいるはずである。
●●委員	貸し出しドームで、お客からお金を取るライブコンサートを、開催するのは可能か。
事務局	可能であるが、お客とのお金のやりとりに関しては、一切関わらない。中ホールや大ホールで個人のチケット販売を行う際、前売りや、営利目的、館内販売等で料金設定が変化するが、その点に関しては相手に任せる。
●●委員	宗教団体は受けるのか。
事務局	市の規約に基づいて受ける受けないを決める。
●●委員	ドームでライブを行った場合、遅れて来た人への対応や、会場への案内等はどのようにするのか。
事務局	通常投映時も職員は最低2人は配置するので、遅れて来た人の案内ぐらいは業務範囲として対応する。
●●委員	白井の職員は何人か
事務局	職員2名、非常勤4人である。
●●委員	撮影は、限られた人になるが、お客を入れるコンサートは不特定多数の人が来館することになる。事故が起きた場合の責任の所在等難しい問題も発生する。最初は、あせらず、撮影の貸出しのみと絞ったほうが良いのではないか。
事務局	そうする。
●●委員	その他意見、質問はないか。では平成30年度第2回運営協議会を終了とする。 (森会長から欠席する旨の連絡が入り、松上副会長が最後まで議長を務めた)